木原サロン　薬剤師に学ぶ
薬との上手な付き合い方

木原サロンで、肝属調剤薬局管理薬剤師である宮元秀樹先生による健康講話が行われました。講話では、複数の薬を服用することで副作用などの問題が起こる「ポリファーマシー」や、薬のことを気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」について説明がありました。サロン長の栗脇通徳さんは「日頃、服薬していて気になることを質問できてよかった」と語りました。



「市販薬やサプリメントの服用も薬剤師に伝えてほしい」と呼びかける宮元先生。安心して薬を使うため、日頃からの情報共有が大切です。

サロン参加者は、手際よく包丁で殻に切れ目を入れ、一つ一つ丁寧に実を取り出していました。



茶の実から広がる可能性
サロンで新たな『ハタラク』取組

サロンの皆さんがやりがいを感じながら、地域の担い手として活躍することを目指す『ハタラク』取組として、塩屋・神川新町サロンで茶の実の取り出し作業を行いました。今回は、盤山の耕作放棄地で摘採した枝から実を採り、殻を剥く作業を試験的に実施。今後は、サロンでの「ハタラク」機会の創出につながるよう、県外企業とともに茶の実を活用した化粧品づくりの可能性を探ります。

国際交流員ミィッさんによるミャンマーの伝統的なランタンを作るワークショップも同日行われ、参加者たちが作成したランタンが会場を彩りました。



幻想的な雰囲気に包まれる
やまんなか音楽会 in はなぜ

10 月 24 日、花瀬自然公園内でやまんなか音楽会が開催されました。台風の影響で、あいにくの天気となりましたが、でんしろう館体育館につくられた特設ステージでは、サックス四重奏やフラワーパフォーマンスなど、多彩な演目が披露され、会場は音楽と華やかな演出に包まれました。



合同金婚式に７組が参加
夫婦で苦楽を乗り越え 50 年

結婚50年の節目を祝う合同金婚式が10月20日に錦江町総合交流センターで行われ、７組14名が参加しました。参加者を代表して黒瀬正さん夫婦が「２人そろってこの日を迎えられ、この上ない喜び。山あり谷ありの50年だったが、振り返ってみると１年の春夏秋冬のごとくよみがえってくる。今後も健康に気を付け、夫婦仲良く暮らしていきたい」と述べました。



夫婦で三献の儀で杯を交わし、これまで以上に固い絆を結びました。参加者へは、結婚当時を振り返る新聞記事や記念品が贈られました。

写真左から新田敏郎町長、錦江町商工会水流秀作会長、佐川急便㈱南九州支店寺本直晃支店長。県内では初めての取組となります。



買い物支援の実証実験へ
地域活性化包括連携協定を締結

10 月 20 日、錦江町商工会、佐川急便株式会社、錦江町の３者による「地域活性化包括連携協定締結式」が行われました。本協定は、３者が連携・協力し、地域の活性化や町民サービスの向上、地域課題の解決を目指すものです。今後は、買い物に不便を感じている方々を支援するため、早ければ来年２月に「買い物巡回サービス」の実証実験を行う予定です。

優しい気持ちで見守ることからスタートして
認知症サポーター養成講座

大根占小学校と田代小学校で、認知症への理解を深める「認知症サポーター養成講座」が行われ、４年生の児童 29 名が参加しました。講話や劇団「南の星座」による寸劇を通して、認知症の症状や認知症の人への接し方などを学んだ児童たち。大根占小４年の尾迫春彩（はるあ）さんは「認知症の方に優しく声をかけたい」と話しました。



劇団「南の星座」は、南隅地域の医療・介護・福祉従事者で構成され、認知症への理解を広めるため、県内外で活動しています。

今回の訓練は午前９時に地震が発生し、１時間 10 分後に１ｍ、１時間 50 分後に 4.5 ｍの津波が到達すると想定。



津波から命を守るために
日頃の備えと避難を確認

津波発生時の避難場所の確認や関係機関との連携強化を目的に、津波防災訓練が行われました。塩屋自治会の住民約 50 名が参加し、消防団員などの誘導で避難場所まで移動。避難後は南部消防署の下大川洋志さんによる講話が行われ、「地震はいつどこで発生するか分からない。事前の予防対策で命を守って」と地震への備えを呼びかけました。